

「外科的治療」で発声障害を改善

府内市立病院初 市立ひらかた病院内に音声外科センター

◎チラシあり

北河内唯一の市立病院、市立ひらかた病院内に令和5年1月に開設した『音声外科センター』では、音声障害をきたす疾患に対して、「外科的治療」というアプローチからも診察を受けることが可能。「声のかすれが治らない」「声が詰まったような感じがする」などの違和感、昔のように声が出ない、声が詰まるなどの症状が解消されない場合に、手術を中心とした有効な医療を提供する。近畿圏内でも「外科的治療」を行える病院は珍しく、市立ひらかた病院の担当者は、「地域の医療機関などにもセンターの存在を知ってもらうことで、より多くの人の声をよみがえらせることができれば」と話す。

★市立ひらかた病院は、耳鼻咽喉科内に2023年1月より「音声外科センター」を開設した。同センターでは、大きな声が出せない、声が詰まる、相手に聞き取ってもらえないなど日常会話に苦しむ発声障害を抱え、耳鼻咽喉科を受診しても回復しない方に対して、近畿圏でも珍しい「外科的治療」による診察が可能。診療を担当するのは日本耳鼻咽喉・頭頸部外科学会専門医の3名。がんなどの疾患により声が出にくくなった、性別違和感での声の高低に悩んでいるなど様々な悩みに専門医が質の高い診断と治療を提供している。

- ① 大津和弥主任部長【写真中央】(日本耳鼻咽喉・頭頸部外科学会専門医、大阪医科薬科大学臨床教授、元三重大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 講師、喉頭形成手術実施医(チタンブリッジ実施医) →音声外科だけでなく、頭頸部外科全般が専門。
- ② 野呂恵起医長【写真右】(日本耳鼻咽喉・頭頸部外科学会専門医)
- ③ 兼竹博文医長【写真左】(日本耳鼻咽喉・頭頸部外科学会専門医)



★一般的に発声障害は服薬治療(内科的治療)の手法をとることが多いが、音声外科では種々の手術(外科的治療)で対応が可能。

I. 喉頭顕微鏡下手術

声帯ポリープや腫瘍などを経口的に顕微鏡下で愛護的に摘出する。

II. 喉頭枠組み手術

喉頭の枠組みを変えて音声を改善する手術。

世界的名医である故一色信彦先生が開発された手術。その最後の弟子である大津耳鼻咽喉科主任部長が積極的に取り組んでいる手術。

音声を聴きながら、手術中に最もよい声になったところで調節、固定する。

・**甲状軟骨形成術Ⅰ型、披裂軟骨内転術：**

癌や大動脈瘤、脳梗塞などによる声帯麻痺に対して行う。声帯を内方移動させて発声時の間隙を小さくし、声を大きくする、長続きするようにする。これにより息継ぎばかりしながら大きな声が出なかった方が、楽に長続きしかつ大きな声が出るようになる。全身状態の悪い方、手術に抵抗ある方に対しては外来処置室でのアテロコラーゲンによる喉頭粘膜下異物注入術も行っている。

・**甲状軟骨形成術Ⅱ型：**

主に内転型痙攣性発声障害に対して行う。声を出そうとしてもつまる、震えて声が出ないといった症状がある。これに対して一色信彦先生（元京都大学名誉教授）がチタンブリッジを開発され、近年保険適応となった。甲状軟骨の正中に少し隙間を開けてチタンブリッジを2本挟むことで詰まりすぎを軽減し、昔のように詰まらずにスムーズに発声できるようになる。ただ手術施行できる施設に限られており、大阪でも当院を含め数施設しかない。主任部長の大津は豊富な治療経験を持ち、適応があれば積極的に手術を行っている。

手術に抵抗のある方に対してはボトックス注入による治療も行っている。

・**甲状軟骨形成術Ⅲ型、Ⅳ型**

声が低い、高いといった症状で困られている方に対して、声帯の緊張を上げるもしくは下げることで声の高低を調節する手術も施行している

Ⅲ.その他

そのほか喉頭悪性疾患に対する治療や気道狭窄、嚥下障害に対する手術も施行している。

★市立ひらかた病院の担当者は、「地域の医療機関にも紹介先としてセンターの存在を知ってもらうことで、声の悩みに苦しむ潜在的な患者に対しても門戸を広げ、より多くの人の声を取り戻すことができれば。これらの診療・手術は特殊な例を除いてすべて保険診療内で行っており、経済的な面でも患者様に安心して治療を受けていただける。」と話す。

<お問い合わせ>

医事課（一般）

医療相談・連携室（地域医療機関）

総務課（記事についてお問合せ）

☎：072-847-2821 FAX：072-847-2825

声に関する問題を解決する専門科

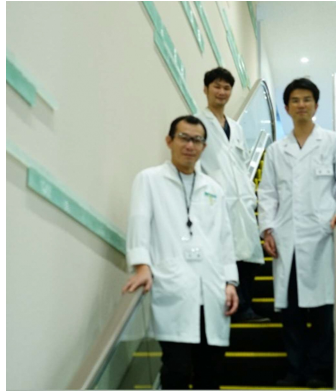
音声外科センター

2023.1 OPEN

声にかすれや不安
違和感はありませんか？

耳鼻咽喉科主任部長である
大津医師を中心に、音声外科
センターを開設いたしました。

当センターでは、声のかすれ
や声が出ないなどの音声障
害をきたす疾患に対して、
外科的治療を行います。



■主な疾患

声帯ポリープ・声帯結節

喉の酷使などで生じることが
多く、保存的治療で改善しな
ければ手術し、摘出します。



声帯麻痺

がんや胸部大動脈解離などの疾患により声帯が
麻痺し、発生時に声門が閉鎖しないことで声が出
なくなった場合、声帯の位置を変え、発生できる
ようにします。

痙攣性発声障害

無意識に声帯の筋肉が痙攣しているため、手術や
ボトックス注射にて対応します。

機能的発声障害

変声障害で声の高低でお困りの方や、性別違和
の方に手術を行っていきます。

喉頭がん

など

担当医

耳鼻咽喉科

主任部長

大津 和弥 医師



医長

野呂 恵起 医師



【お問合せ先】

市立ひらかた病院

医療相談・連携室

〒573-1013

枚方市禁野本町 2-14-1

TEL : 072-847-2821 (代)

FAX : 072-849-2174

声に関する問題を解決する専門科

音声外科センター

2023.1 OPEN

声にかすれや不安
違和感はありませんか？

声がかすれる、つまる。
以前出ていたような声が出なくなった…など



このような疾患が疑われます

声帯ポリープ・声帯結節

声帯麻痺

痙攣性発声障害

機能的発声障害

喉頭がん

など



耳鼻咽喉科主任部長である大津医師を中心に、音声外科センターを開設いたしました。
当センターでは、声のかすれや声が出ないなどの音声障害をきたす疾患に対して、外科的治療を行います。

■診察の流れ

予約

診察・検査

治療開始
(手術など)

他院からの紹介

紹介状

をお持ち下さい

私たちにお任せを！

耳鼻咽喉科

主任部長

大津 和弥 医師



医長

野呂 恵起 医師



【お問合せ先】

市立ひらかた病院 医事課

〒573-1013

枚方市禁野本町 2-14-1

TEL:072-847-2821(代)

FAX:072-849-2174